

講義コード	519400502	
講義名	健康（指導法） CD	
(副題)		
開講責任部署	幼児教育科（短大）	
講義開講時期	前期	
基準単位数	1	
時間	0.00	
代表曜日	火曜日	
代表時限	2 時限	
科目分類名	専門科目	
科目分野名	教職に関する科目	
対象学部・年次	短期大学部・1～2年	
必須/選択	必修	
担当教員		
職種	氏名	所属
専任教員	藤村 透子	指定なし
専任教員	教務委員会（短大）	指定なし

授業の概要

授業の概要

子どもたちが健やかな生活を送り心身の健全な発達を実現することができるよう、子どもの健康づくりと指導のあり方や安全教育について学ぶ。

授業の方法

①プレゼンテーションの方法

授業では、板書と配布印刷物を活用する。

②授業形態

3～4名のグループで教科書の1～2節を担当し、資料作成と発表（グループワーク）を行う。

③アクティブラーニング

グループ発表および理解度確認のためコメントシートを使用する。

④課題に対するフィードバックの方法

コメントシートの内容を確認し、次回の授業時に解説を行う。

授業の到達目標及びテーマ

領域「健康」のねらいと内容及び内容の取り扱いについて理解し、健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養うために必要な知識・技術を身につける。保育における基本方針や具体的な目標を達成するために、子どもたちの発育や発達を理解し、それらの過程にあった指導ができる能力を身につける。

到達目標については、学習成果における①保育者観、②知識・技能、③実践力と実務能力、④人間性と協働性が該当する。特に①②③を重視する。

本授業は、幼児教育科のディプロマ・ポリシー「4.幼児教育の知識・理解に基づいた幼児教育の方法や技術を修得している。」と「6.自学自習・自主自律を実践できる。」を達成するための科目である。

授業計画表

回	項目
第1回	ガイダンス

第2回	資料作成（1）
第3回	資料作成（2）
第4回	第1章 子どもの健康とは
第5回	第2章 現代の子どもの健康の諸問題
第6回	第3章 子どもの心身の健康
第7回	第4章 子どもの運動機能の発達
第8回	第5章 基本的な生活習慣の自立
第9回	資料作成（3）
第10回	第6章 安全保育と健康 第7章 領域「健康」のねらいと内容-3歳未満-
第11回	第8章 領域「健康」のねらいと内容-3歳以上- 第9章 運動能力を高める遊び
第12回	第10章 基本的な生活習慣の指導 第11章 食育活動による健康指導
第13回	第12章 子どもの病気とアレルギー対応 第13章 特別に支援が必要な子どもの健康指導
第14回	第14章 事故防止と安全管理の実際 第15章 領域「健康」の計画と評価
第15回	授業のまとめ
第16回	筆記試験

授業時間外の学修

必ず事前に準備学習（予習）やテキストの下読みをして授業に臨むこと。（予習課題）
グループ発表の担当者は、資料作成、発表練習をしておくこと。（予習課題）
毎回、授業の最後に復習課題を伝える。次の授業までに復習をすませ、配布資料をまとめておくこと。
予習課題に30分、復習課題に15分かかると想定される。

実務経験の有無

ディプロマポリシーとの関連

① 幼児教育者観	② 知識・技能	③ 実践力と実務能力	④ 人間性と協調性
◎	◎	◎	○

ルーブリック

評価項目	優秀 (excellent)	平均 (average)	途上 (developing)	未達 (unachieved)
理解度	授業内容を100%理解しており、授業内容を越えた自主的な学修が行えていると認められる	授業内容をほぼ95%程度理解しており、自主的な学修も少し行っていると認められる	授業内容の理解はほぼ75%程度であることが認められる	授業内容の理解は70%以下と判断できるため、レポートへの助言・新たな資料提供等の支援を行っている
調査する力 (予)	自ら進んで予習範囲を越えて調べるとともに、それを他者に	定められた予習範囲について自分の	定められた予習範囲について調べてはいるが、その理解にはあい	定められた予習範囲について調べられない。

習も 含む)	説明することができる	力で調べることができる	まいな点が多く、不十分な部分がある	もしくは内容が不十分である
基本 的生 活習 慣の 指導 力	子どもの状況に応じて、集団生活を通して基本的な生活習慣を指導することができる	集団生活を通して、子どもに基本的な生活習慣を指導することができる	子どもに基本的な生活習慣を指導するうえで課題があり、課題解決への見通しがある	子どもに基本的な生活習慣を指導するうえで課題があり、課題解決への見通しがない

成績評価法（表形式）

	評価基準	備考
定期試験	40%	期末試験で、授業内容全般の理解度を評価する。
小テスト等		
成果発表	40%	発表について評価する。
授業への貢献度		
レポート		
その他	20%	授業態度（コメントシートの内容を含む）を評価する。

課題へのフィードバック方法

定期試験や小テストの結果について	課題（レポート等）について	模擬授業、プレゼン、発言等について
	その都度解説、講評する	その都度解説、講評する

ICTを活用した双方向型授業の内容

クリッカー、アンケート、小テスト等
チャット
メール等の活用

アクティブラーニングの割合

総授業時間数の30～60%程度のアクティブラーニングである

アクティブラーニングの内容

書く・話す・発表する等の活動におけるAL	経験値・技能を高める活動におけるAL	授業時間外におけるAL
グループワークのディスカッションやディベート（議論の場と時間） プレゼンテーション 調べ学習・調査の活用		

教科書

『コンパクト版 保育内容シリーズ① 健康』 谷田貝公昭（一藝社）

参考書
幼稚園教育要領（平成29年3月 文部科学省） 幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月 内閣府） 保育所保育指針（平成29年3月 厚生労働省）
SDGsとの関連
4. 質の高い教育をみんなに
特記事項等
①科目のナンバリング SCO1102
②オンライン授業の実施方法 Teamsによる教材提供、リアルタイム授業、小テスト、レポート等、また、ハイブリッド式授業を行う。
研究室（訪問先等）
中央研究棟 2階 223 研究室 第2 体育館 2階 体育教員室
2022年度前期は、月・火・水・木が出校日です。研究室または体育教員室を訪ねてください。
電話番号
028-667-7111（代）
授業用E-mail
fujimura@sakushin-u.ac.jp